

【寄稿】

誌上シンポジウム

PBL（問題発見解決型学習）と『総合的な探究の時間』の 接続を展望する†

発題論文：中西良文* *2

提案論文：林仁大*3

提案論文：長濱文与*4・下村智子*4 *2

討論論文：岩佐純巨*5 1)

討論論文：山田康彦* 2)

三重大学教育学部*

三重大学地域人材教育開発機構 PBL 教育推進プロジェクト*2

三重県立津東高等学校*3

三重大学教養教育院*4

高田中学校・高等学校*5

本誌上シンポジウムは、「PBL（問題発見解決型学習）と『総合的な探究の時間』の接続を展望する」というテーマに関して、1本の発題論文による企画趣旨説明と論点の提示を皮切りに、2本の提案論文により話題提供がなされ、最後に2本の討論論文によって、包括的な議論を行うものである。

なお、この誌上シンポジウムは2019年3月19日に三重大学にて開催された三重大学PBL公開フォーラム Part2「PBL(問題発見解決型学習)と『総合的な探究の時間』の接続を展望する」での発表資料ならびに発言を基に、加筆修正を加え論文にまとめたものである。そのため、内容の一部において、当日のフォーラムの場での議論に基づき執筆された箇所が存在する点にご留意いただきたい。

注

1) 2019年3月19日時点の所属：鈴鹿中等教育学校。

2) 2019年3月19日時点の所属：三重大学教育学部・三重大学地域人材教育開発機構 PBL 教育推進プロジェクト。

† Symposium in Print : Perspectives of the articulation between PBL(Problem/Project-based Learning) and "Period for inquiry-based cross-disciplinary study"